ほたる

◆建設的な生き方へのお手伝い（*Just do it !*）◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】　異端のすすめ　強みを武器にする生き方
橋下 徹 著　ＳＢクリエイティブ
ホームページ　URL http://primecorporation.jp/

発行日　2020 年 5 月 1 日　Ｖｏｌ．２１１
発行元　有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント　渡 邉 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

根拠のない情報

最近は社会のいろんな情報を、ツイッターやフェイスブックなどのＳＮＳを利用して収集する人が多いのではないでしょうか。インターネット上の記事にはとても有用なものがある一方で、時に科学的な根拠が存在しない、いわゆる「デマ」が拡散されることもたくさんあります。新型コロナウイルスに関わるデマも今回いろいろありました。「トイレットペーパーがなくなる」というデマは記憶に新しいところです。

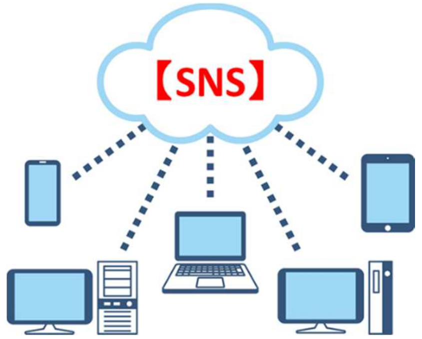
なぜ、根拠に基づかない情報が拡散されるのか。その背景にあるのは根拠云々より「感情」を揺さぶるコンテンツが拡散されやすいという現実です。そして感情的・煽情的であればあるほど拡散されよりアクセスが増えます。感情的で、煽情的なものほど「気になる」ということ自体は人間の性であり致し方ない面もあると思います。

日々、スマホやＰＣで目にする情報の中で気になったものを、つながりのある人に「よかれ」と思ってシェアなど拡散されるケースもあると思います。よかれと思って誤った情報の拡散に加担すると、場合によっては誰かの営業活動の妨害となり意図しないトラブルにもつながりかねません。

シェアのボタンを押す前に、下記記載の「情報の見極め方７つのポイント！」を参考にしてみてください。そして当てはまりそうなら 1 回深呼吸して、シェアするかどうかを一瞬だけでも考え直してみる。そうするだけで、デマの拡散に手を貸すリスクを減らすことができます。デマに加担しないためのリテラシー（活用する能力）も必要ですね。

情報の見極め方7つのポイント！

だ	誰が言っている？
し	出典はある？
い	いつ発信された？
り	リプライ欄（返信欄）にどんな意見？
た	たたき（攻撃）が目的ではない？
ま	まずは一旦保留しよう
ご	公的情報が元になっている？



正常性バイアス

人間にはささいな事に翻弄されないよう、自然と心の平穏を保つ働きが備わっているそうです。日常生活の中で問題に直面した時にも、それなりに対応できる力を有しています。

ところが、大災害など未経験の事態に遭遇した場合にこの働きが過剰反応し、脳が処理できなくなることがあります。これを「正常性バイアス」と言います。

「正常性バイアス」は、心理学の用語ですが、社会心理学や災害心理学だけでなく医療用語としても使われています。人間の心は予期せぬ出来事に対してある程度“鈍感”にできています。人間が予期しない事態に対峙したとき、「ありえない」という先入観や偏見（バイアス）が働き、ある程度の限界までは正常の範囲として処理する心のメカニズムが備わっていると考えられます。

東日本大震災や御嶽山噴火などでは、正常性バイアスによる根拠のない楽観的思考が対応を遅らせた可能性が指摘されています。今回の新型コロナウイルスでも、今までのインフルエンザと大して変わらないだろうという心理が働いているように感じます。志村けんさんの様な有名な方が入院してから数日で亡くなってしまったことにより、自分のことと して冷静に考えられる様になったのではないでしょうか。

【座右の銘にしたい名言】

温かさ、親切、そして友情は、世界中の人がもっとも必要としているものだ。それらを与えることのできる人は、決して孤独にはならない。　（アン・ランダース/米国のコラムニスト）